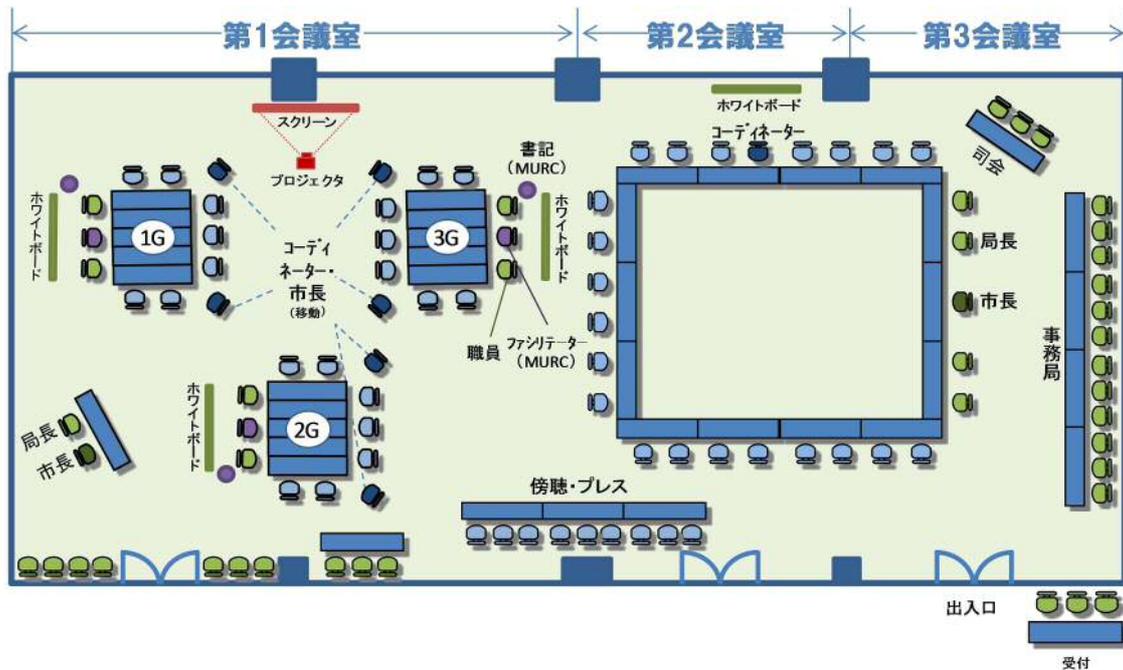


川崎市総合計画市民検討会議第2回全体会 グループディスカッションの進め方

【レイアウト】（高津区役所 5階）



【メンバー】（敬称略）

グループ	氏名	在住区	スタッフ
1	外山 瑠美 (トヤマ ルミ)	川崎区	(市職員)
	長野 敏幸 (ナガノ トシユキ)	宮前区	久万
	青柳 昇二 (アオヤギ ショウジ)	幸区	長瀬
	片山 利昭 (カタヤマ トシアキ)	高津区	(ファシリテーター)
	小池 朋子 (コイケ トモコ)	多摩区	大塚
	新富 征人 (ニトミ ユキト)	幸区	(書記)
	加藤 美於 (カトウ ミオ)	麻生区	山本
2	荻原 進 (オギハラ ススム)	川崎区	(市職員)
	後本 直子 (ノチ モト ナオコ)	多摩区	阿部
	馬場 直子 (ウばい ナオコ)	中原区	塚田
	岡田 義一 (オカダ ヨシカズ)	高津区	(ファシリテーター)
	加藤 浩照 (カトウ コウショウ)	宮前区	佐藤
	加藤 英雄 (カトウ ヒデオ)	幸区	(書記)
	松本 玲子 (マツモト レイコ)	中原区	西尾
3	小山 了 (コヤマ リョウ)	川崎区	(市職員)
	川島 弘一 (カワシマ コウイチ)	中原区	宮崎
	山下 博子 (ヤマシタ ヒロコ)	多摩区	佐藤
	飯田 眞 (イイダ マコト)	高津区	(ファシリテーター)
	長谷川 秀子 (ハセガワ ヒデコ)	高津区	水谷
	辻 麻里子 (ツジ マリコ)	宮前区	(書記)
	山下 千裕 (ヤマシタ チヒロ)	麻生区	大垣

【グループディスカッションの進め方】

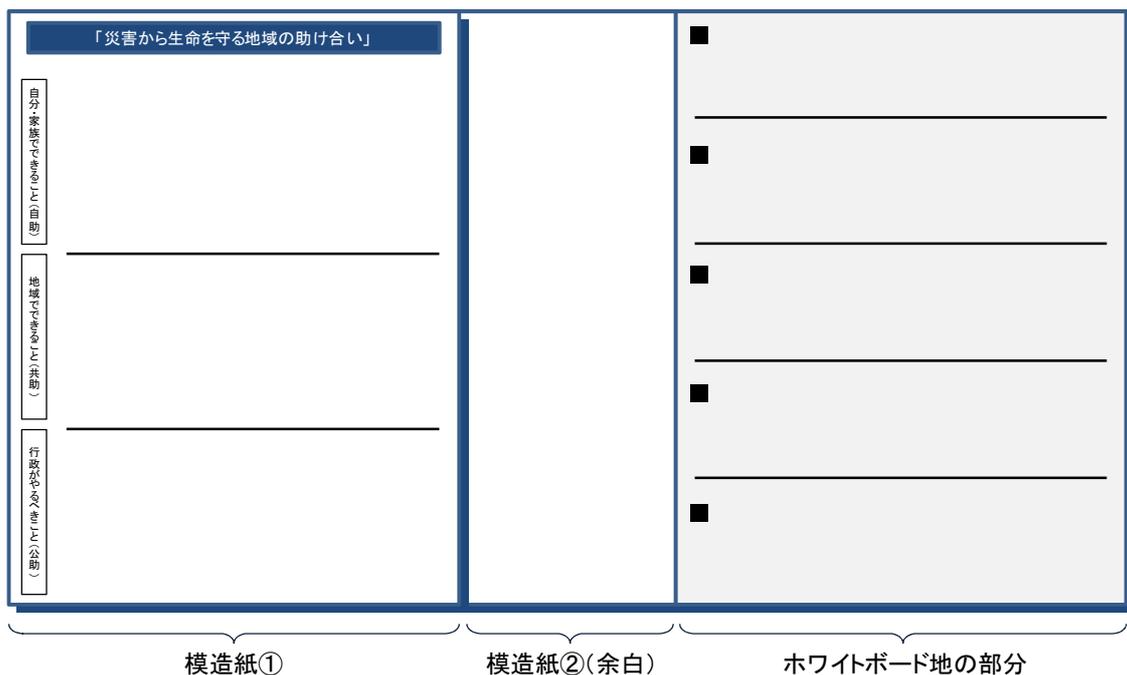
- **本市の取組についての説明・質疑応答** (10:45～11:05 計20分 (説明15分・質疑応答5分))
 - ・ 市より、「災害から生命を守る地域の助け合い」のテーマに関する本市の取組について、写真や映像を使って説明します。
 - ・ その後、質疑応答を行います。

- **グループディスカッション** (11:05～11:50 計45分)

- **ディスカッション** (11:05～11:45 計40分)

- ・ 3つのグループで、「災害から生命を守る地域の助け合い」のテーマについて、「自分・家族でできること(自助)」「地域でできること(共助)」「行政がやるべきこと(公助)」の視点で、それぞれグループディスカッションを行います。
 - はじめに、自己紹介を兼ねて、このテーマに関する問題意識や普段の活動などを簡単に一言ずつ(30秒程度で)お話いただき、それからディスカッションに入ります。

＜各テーブルに模造紙を配置(ホワイトボードに掲示)＞



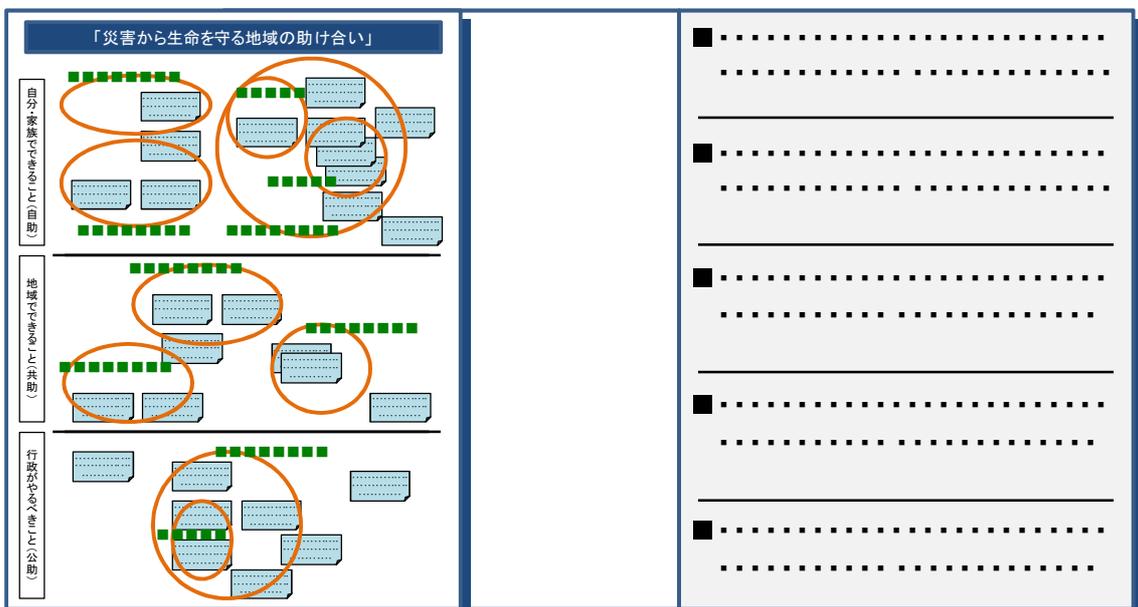
- ・ 自己紹介が1巡した後は、ファシリテーターの進行により、自由に意見交換をして、議論を深めていきます。
- ・ 委員の意見が付箋に書かれている場合は、書記がその付箋を模造紙に貼り出します。口頭での意見は、書記が聞き取った内容を付箋に書き出し、内容を発言した委員に確認してもらってから、模造紙に貼り出します。
- ・ 書記は、いただいた意見を、「自分・家族でできること(自

付箋の書き方のポイント

- ・ 1枚に1つのことを書く。
- ・ 配布しているサインペンを使って書く。
- ・ できるだけ大きな文字で書く。
- ・ 単語ではなく、誰が、何を、どうするかなどがわかるように書く。

助)」「地域でできること(共助)」「行政がやるべきこと(公助)」に分類して、委員に確認しながら左側の模造紙の該当する場所に貼り出します。分類が難しい場合には、いったん右側の模造紙の余白に仮置きをして、その後の意見交換で分類できれば、適宜左側の模造紙に貼り替えます。

- ・ 模造紙に付箋を貼る際、近い内容の付箋があれば、それらを近い位置に貼り替えて、大まかなグルーピングをしていきます。ある程度グループがまとまってきたら、そのグループのまとめのこぼを、グループのタイトルとして模造紙に書き出します。
- ・ 最後に、全体を通じたまとめとして、右側のホワイトボードの地の部分に、1～2行の文章で箇条書き(目安として3～5本程度)でポイントを書き出します。
- ・ 改めて全体を振り返り、全体を通じたまとめのコメントとともに、模造紙に書かれたキーワードについても、重要なものの漏れがないかを確認します。



■ **発表者の決定・全体振り返り (11:45～11:50 計5分)**

- ・ グループディスカッションの成果を発表していただく方を決めます。
- ・ 先ほど話し合ったことを振り返り、グループで確認・共有します。同時に、発表者と発表のポイントを確認します。

○ **成果発表・シール投票・まとめ (11:50～12:20 計40分)**

各グループの成果発表 (30分)

- ・ グループごとに、委員の代表者に、グループディスカッションの成果を発表していただき、質疑応答を行います。(発表5分・質疑応答5分×3グループ)
 - テーマごとに、左側の模造紙でグループのタイトルを追いながら議論の経過の概略を簡単に紹介していただき(2分を目安)、右側のホワイトボードのまとめを読み上げていただきます(3分を目安)。

シール投票 (5分)

- 3 グループの発表後、委員 1 人につき 3 枚のポイントシールを、それぞれよいと思った意見に貼り出します。
 - 右側のホワイトボードに箇条書きされたまとめの文章の中から選んで貼っていただきます。

「災害から生命を守る地域の助け合い」

自分・家族でできることと自助

地域でできることと共助

行政がやるべきことと公助

まとめ (5分)

- 各グループの発表及びシール投票の結果をもとに、コーディネーターのコーディネートによって、全体で討議を行います。(書記は別の模造紙に討議内容を記録します。)
- 最後にコーディネーターより、まとめのコメントをいただきます。

(以 上)